

# 平成23年3月期 第2四半期決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740

# 目次

企業集団の状況	...	1
事業所	...	2
平成23年3月期第2四半期決算について／表紙	...	3
平成23年3月期第2四半期決算の概要	...	4
事業の種類別セグメントの業績概要	...	5
業績概況(連結)	...	6
貸借対照表(連結)	...	7
業績推移(連結)	...	8
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	...	9
＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移(連結)	...	10
＜エコ&エコ＞四半期売上高の推移	...	11
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)	...	12
＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)	...	13
平成23年3月期業績予想について／表紙	...	14
平成23年3月期業績予想(連結)	...	15
当社グループの取り組み	...	16

本資料は、平成23年3月期の第2四半期業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、9月30日時点でのデータを元に作成しております。

# 企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社2社により構成されております。また、親会社として㈱小林洋行が当社株式の51.79%を保有しております。当社グループの事業内容は次のとおりであります。

## (1) 投資サービス事業

### ① 商品先物取引業

当社及び子会社丸梅㈱が、商品取引所法に基づき設置された商品取引所が開設する商品市場に上場されている各種の商品先物取引について、顧客の委託を受けて執行する業務(受託業務)及び自己の計算に基づき執行する業務(自己売買業務)並びに委託の取次を行っております。

## (2) 生活・環境事業

### ① 太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

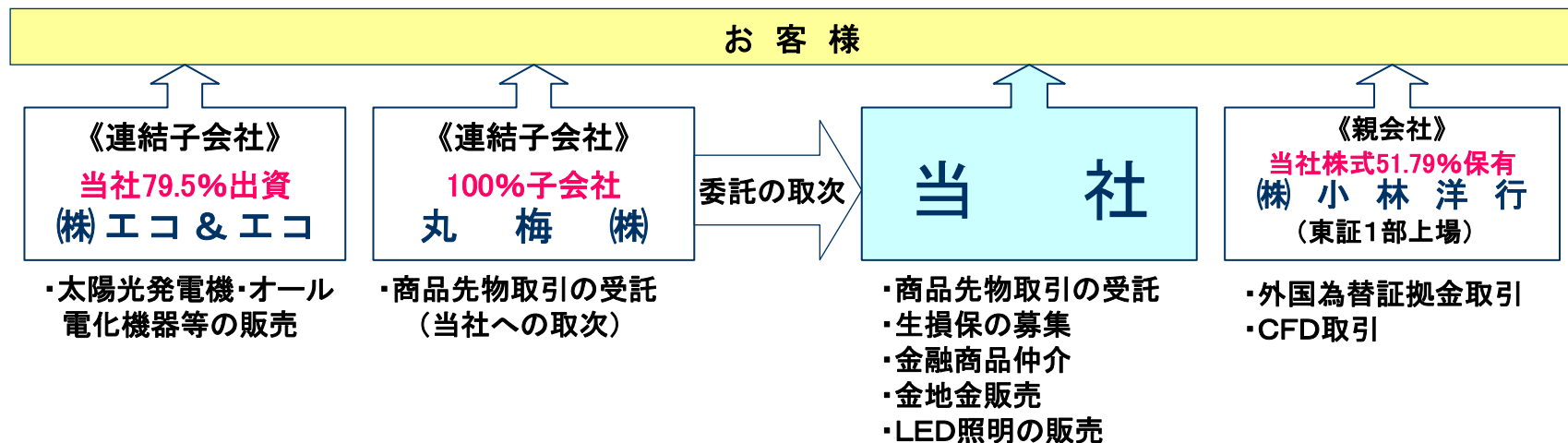
子会社㈱エコ&エコが、太陽光発電機・オール電化機器等の販売及び設置工事を行っております。

### ② 保険募集業務

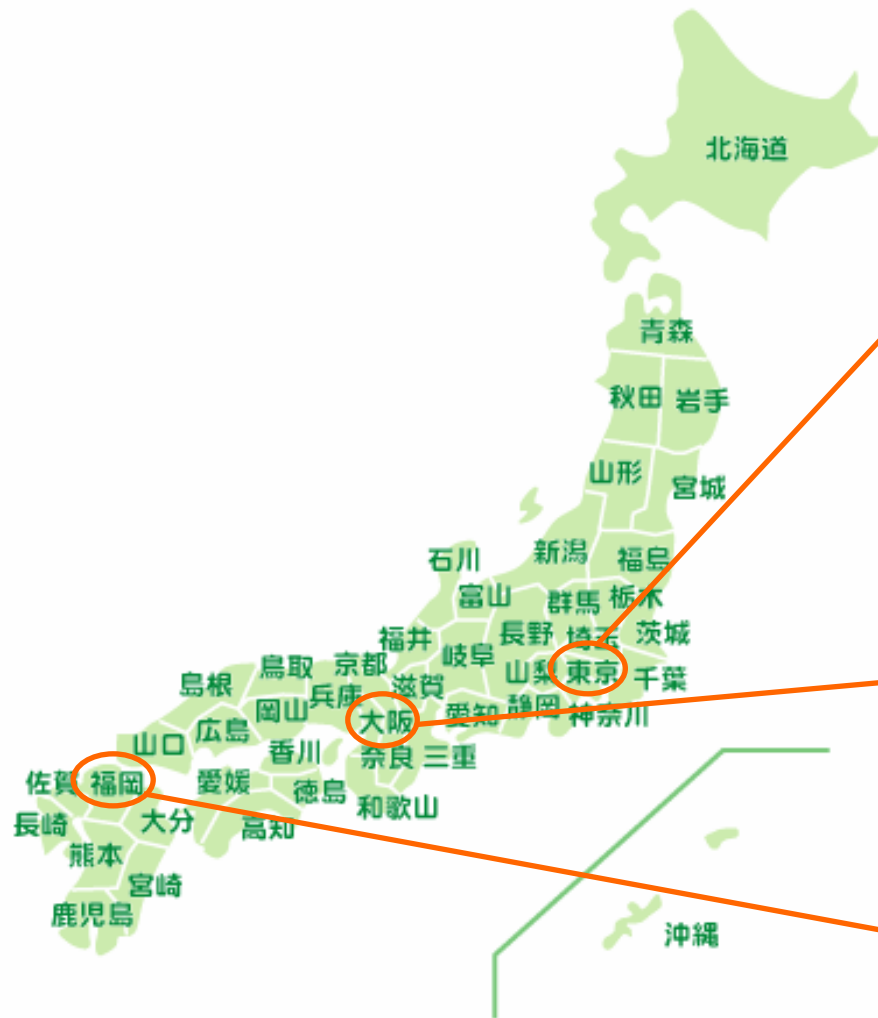
当社が、生命保険の募集業務及び損害保険代理店業務を行っております。

### ③ その他

当社が、LED照明の販売(平成22年4月開始)を行っております。



# 事業所



## <東京地区>

本社：東京都新宿区大久保1-3-17

子会社：丸梅株式会社  
東京都中央区日本橋兜町7-2  
株式会社エコ&エコ（本社）  
東京都新宿区大久保1-3-17

## <関西地区>

大阪支店：大阪府中央区南船場3-4-26

## <九州地区>

福岡支店：福岡市中央区天神2-14-13

子会社：株式会社エコ&エコ（福岡支店）  
福岡市中央区天神3-3-6

# 平成23年3月期 第2四半期決算について



# 平成23年3月期第2四半期決算の概要

## <市場環境>

わが国の商品先物取引市場におきましては、平成16年の商品取引所法の改正以降、商品取引員に対する勧誘規制の強化などで、市場規模の縮小が続いており、当第2四半期(6ヶ月)の全国商品取引所の出来高合計は、1,487万枚(前年同期比10.6%減)と減少が続きました。厳しい業界環境のなか、商品取引員の減少が続くと共に、中部大阪商品取引所が、十分な出来高が見込まれないことを理由に、市場の廃止や休止を決定するなど、商品取引所の淘汰も進んでおります。

太陽光発電機等の販売については、補助金制度や余剰電力の買取制度等の普及促進策や環境意識の高まりなどから、市場規模は拡大しておりますが、新規参入企業も多く販売競争は激化しております。

## <当社グループの営業成績>

このような環境のなか、当社グループは、商品先物取引受託業務に関しては、(株)小林洋行(親会社)の受託業務廃止に伴う同社からの顧客移管受入(平成22年2月)による受取手数料の増加と人件費、地代家賃を中心とした営業費用削減による収支改善を目指すと共に、環境分野の事業拡大のため、太陽光発電機等の販売に加え、新たにLED照明販売に参入いたしました。

これらの結果、当第2四半期(6ヶ月)の連結業績は次のとおりとなりました。

営業収益	873百万円(前年同期比25.2%増)
営業費用	1,035百万円(前年同期比0.4%減)
営業損失	476百万円(前年同期は営業損失507百万円)
経常損失	463百万円(前年同期は経常損失476百万円)
四半期純損失	479百万円(前年同期は四半期純損失482百万円)

# 事業の種類別セグメントの業績概要

## <事業の種類別セグメントの業績>

### 1.投資サービス事業

当第2四半期(6ヶ月)の投資サービス事業の営業収益は462百万円、営業損失349百万円となりました。なお、営業費用は795百万円となっております。

#### ①商品先物取引受託業務

(株)小林洋行(親会社)の受託業務廃止に伴う同社からの顧客移管受入(平成22年2月)などにより、当第2四半期(6ヶ月)の受取手数料は、516百万円(前年同期比21.7%増)となりました。

#### ②商品先物取引自己売買業務

市場の流動性低下による不安定な相場環境等により、当第2四半期(6ヶ月)の売買損失は、71百万円(前年同期は売買利益35百万)と大幅な減収となりました。

### 2.生活・環境事業

保険募集業務の当第2四半期(6ヶ月)の受取手数料は、17百万円(前年同期比7.0%減)となりました。また今年の4月から新たに開始したLED照明の販売につきましては、下半期からの本格的な営業開始を目指して準備を進めたため、当第2四半期(6ヶ月)の売上寄与は僅かであります。

太陽光発電機・オール電化機器等の販売を行っている子会社(株)エコ&エコの当第2四半期(6ヶ月)の業績は売上高409百万円(前年同期比88.5%増)、営業損失8百万円(前年同期は営業損失26百万円)となりました。

## 業績概況（連結）

（単位：百万円）	H21. 9期	H22. 9期	対前年増減率
営業収益	697	873	25.3%
内 受取手数料	443	534	20.5%
営業利益	△ 507	△ 476	—
経常利益	△ 476	△ 463	—
当期純利益	△ 482	△ 479	—
一株当たり四半期純利益	△ 70.38円	△ 71.10円	—
一株当たり純資産額	734.13円	617.89円	△ 15.8%
自己資本比率	69.8%	61.0%	△ 8.8%

（注）業績数値は、各4月～9月（6ヶ月）の累計実績です。

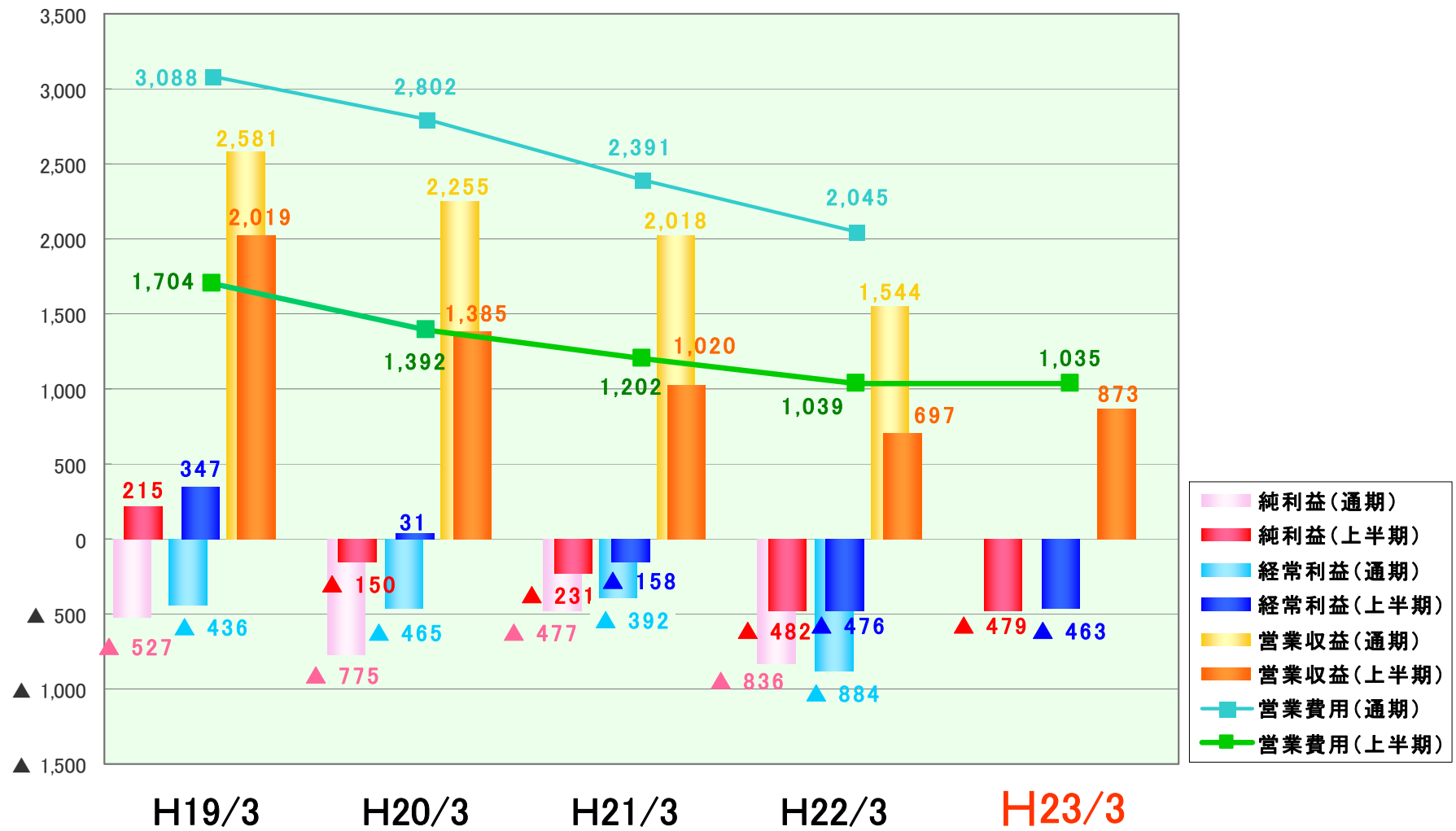


# 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	H21. 9期	H22. 9期	対前年増減率
流動資産合計	4,541	4,972	9.5%
内 現金及び預金	2,596	2,419	△6.8%
固定資産合計	2,672	1,744	△34.7%
内 投資有価証券	360	453	25.8%
内 投資不動産	855	-	-
資産合計	7,214	6,716	△6.9%
流動負債合計	1,611	2,288	42.0%
内 預り証拠金	1,450	2,143	47.8%
固定負債合計	502	295	△41.2%
負債合計	2,177	2,622	20.4%
純資産合計	5,036	4,094	△18.7%
内 有価証券評価差額金	66	31	△53.0%

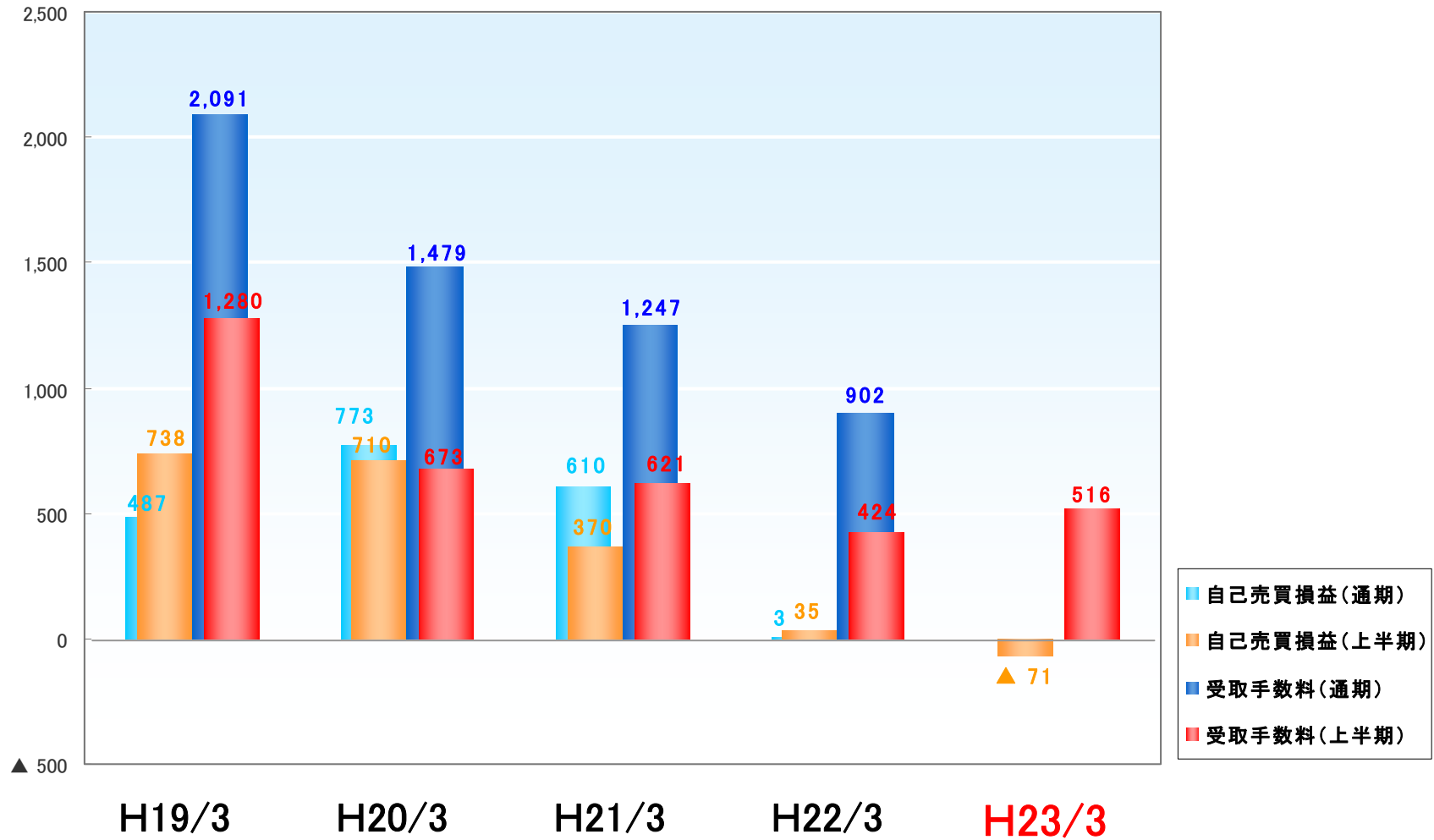
# 業績推移（連結）

単位:百万円



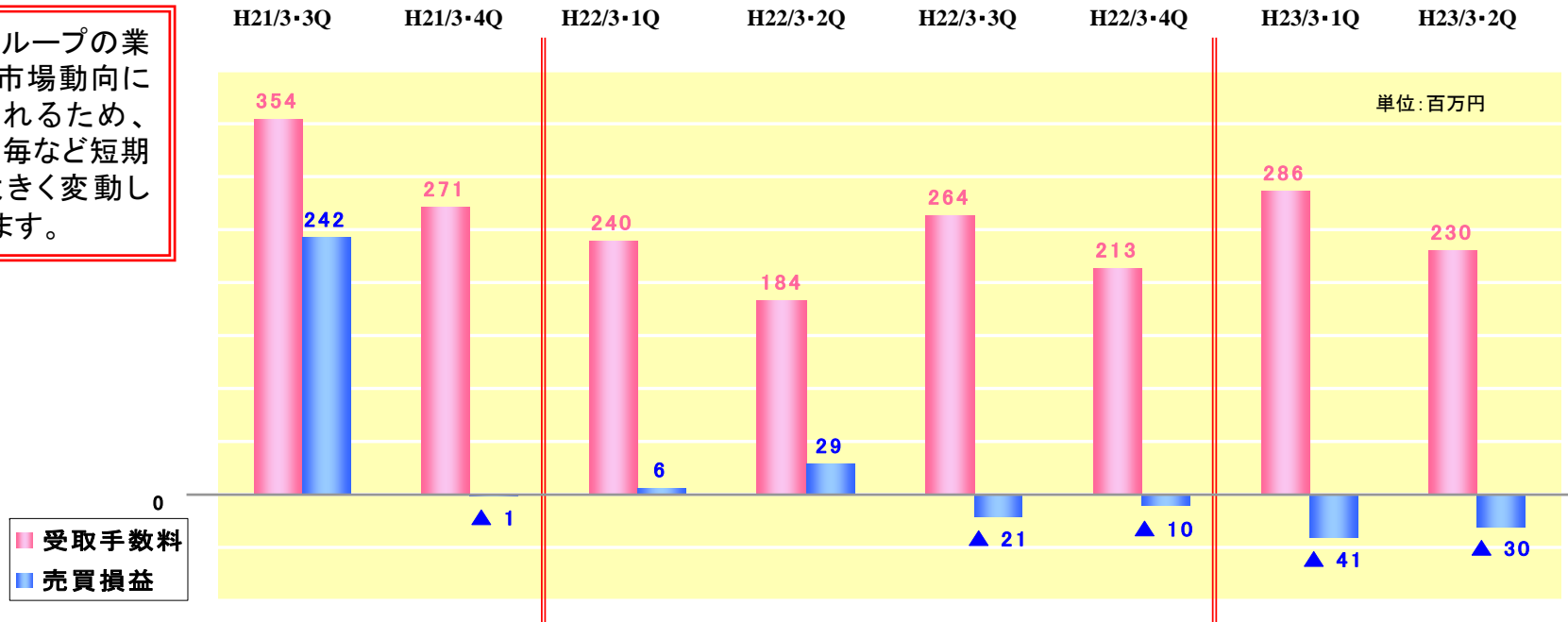
## ＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)

単位:百万円



## ＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移（連結）

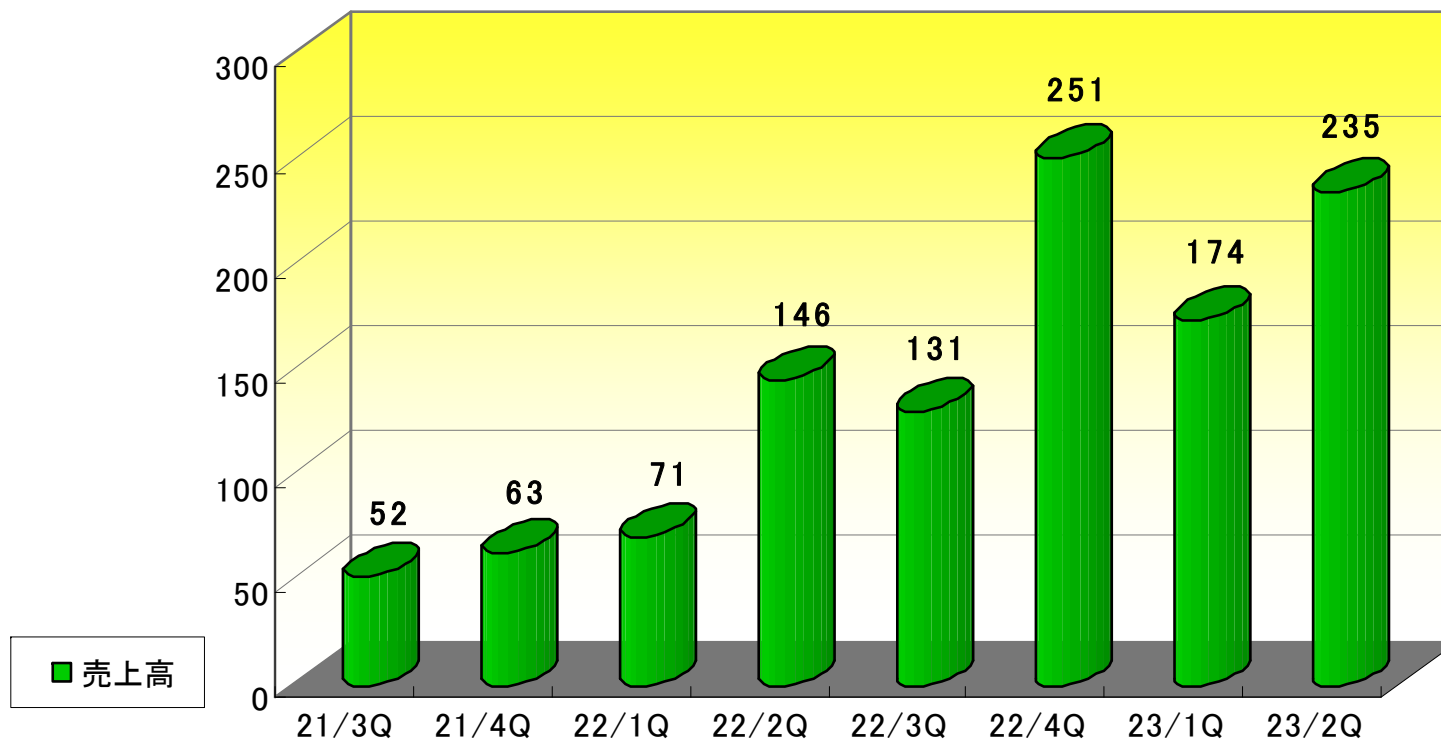
当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動しております。



(単位：百万円)	H21/3 3Q	H21/3 4Q	H22/3 1Q	H22/3 2Q	H22/3 3Q	H22/3 4Q	H23/3 1Q	H23/3 2Q
受取手数料	354	271	240	184	264	213	286	230
商品先物取引	354	271	240	184	264	213	286	230
商品ファンド・金融商品仲介	—	0.02	—	—	0.1	0.2	0.1	0.3
売買損益	242	△ 1	6	29	△ 21	△ 10	△ 41	△ 30
商品先物取引	242	△ 1	6	29	△ 21	△ 9	△ 43	△ 30
商品売買損益	—	—	—	—	—	—	2	—

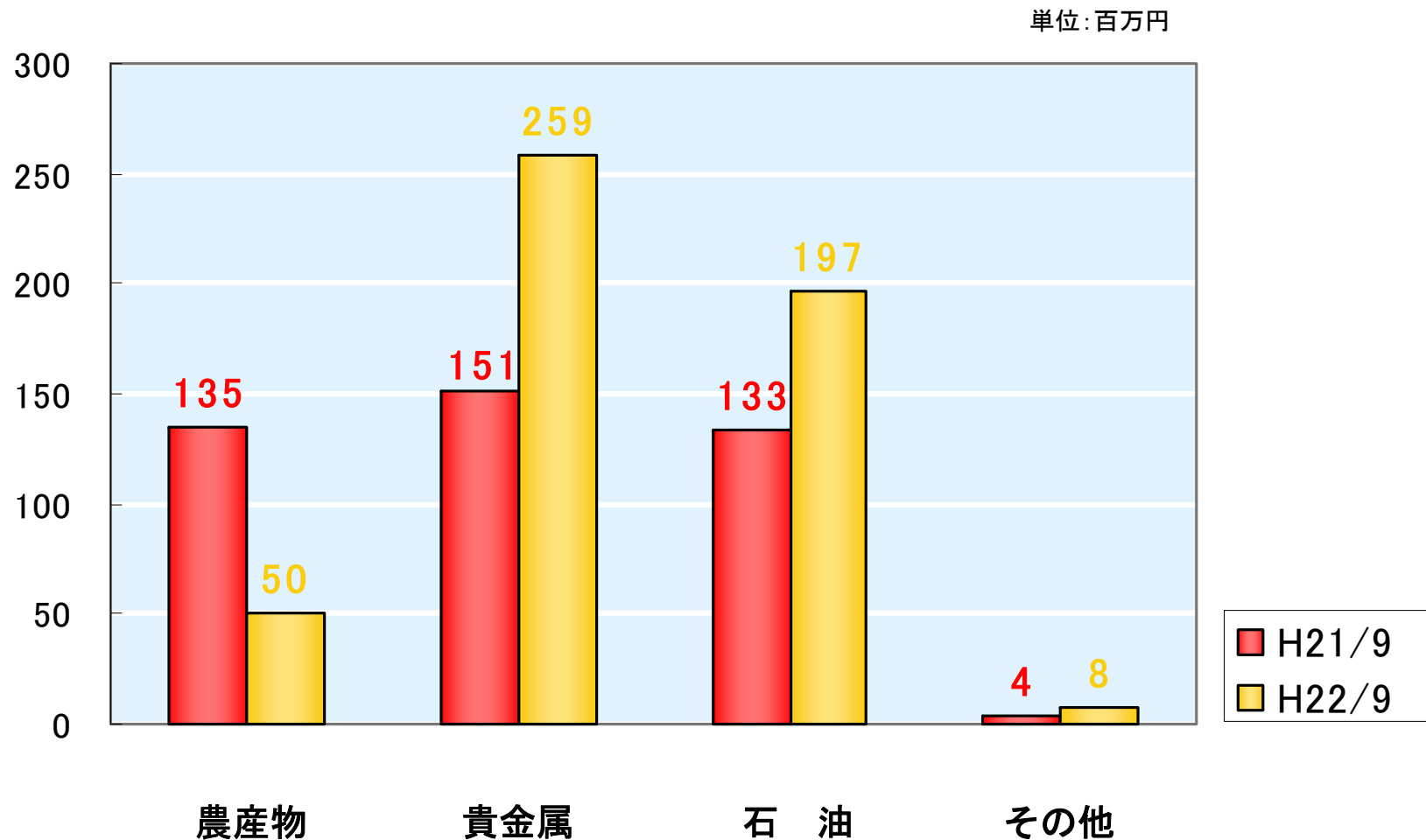
## <エコ&エコ> 四半期売上高の推移

単位: 百万円

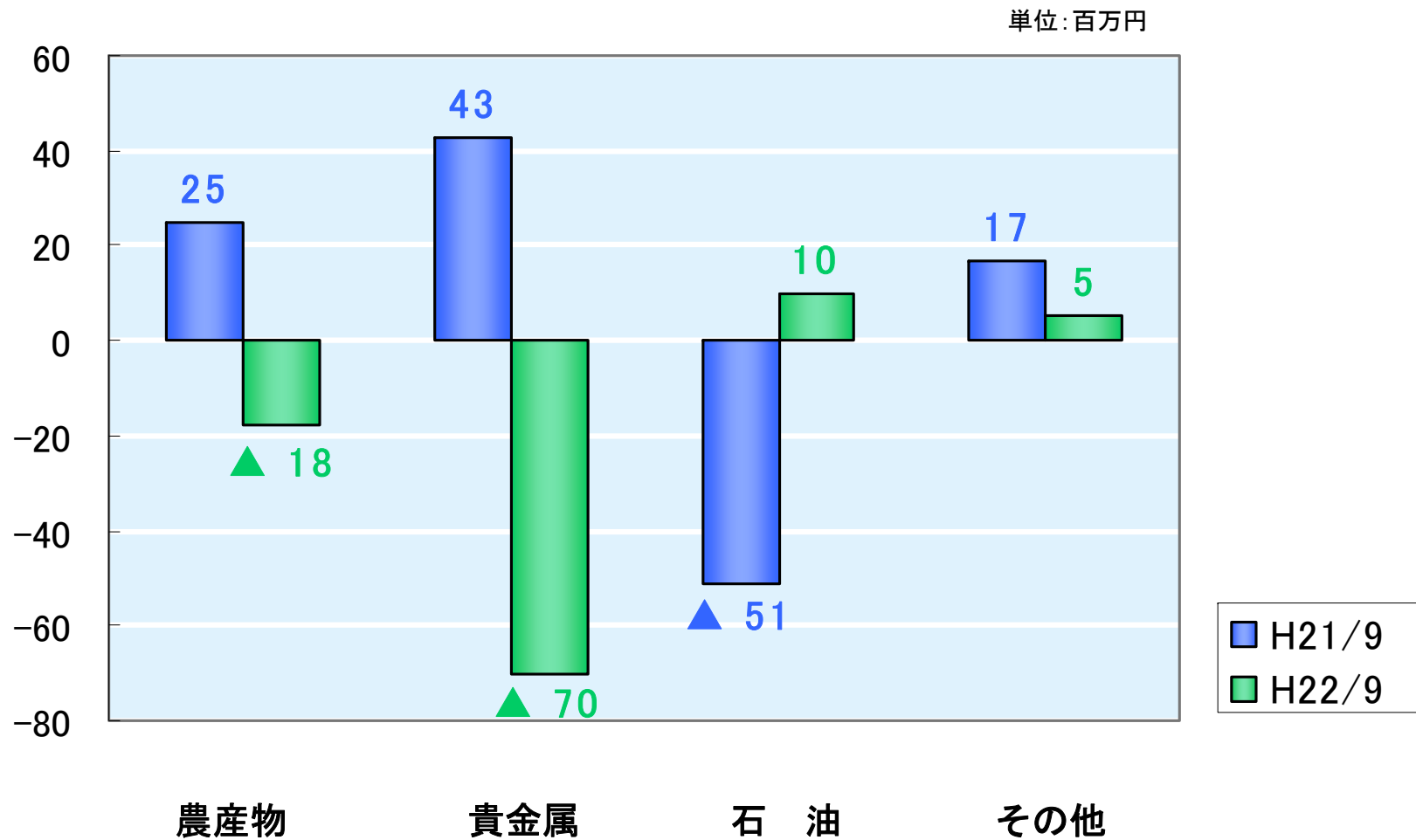


(単位: 百万円)	H21/3 3Q	H21/3 4Q	H22/3 1Q	H22/3 2Q	H22/3 3Q	H22/3 4Q	H23/3 1Q	H23/3 2Q
売上高	52	63	71	146	131	251	174	235

## ＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)



## ＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳（連結）



# 平成23年3月期業績予想について

---





# 平成23年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
22年3月期通期実績	1,544	△ 954	△ 884	△ 836	△ 122.00円
23年3月期通期予想	2,240	△ 709	△ 685	△ 703	△ 105.20円
23年3月期第2四半期実績	873	△ 476	△ 463	△ 479	△ 71.10円

商品先物取引業については、(株)小林洋行(親会社)からの顧客移管受入(平成22年2月)による増収が見込まれるものの、市場規模縮小、福岡支店における商品先物受託業務の廃止、1月からの不招請勧誘の原則禁止などの影響で、受託業務の受取手数料の前期比増加は小幅に留まるものと予想しております。また、自己売買業務についても、市場流動性の低下等から厳しい環境が続くものと想定しております。

太陽光発電機・オール電化機器の販売については、10月に(株)エコ&エコ(子会社)の福岡支店を新設した効果や、補助金や買電等の普及促進策により、順調な売上増加を見込んでおります。

また、保険募集業務の受取手数料は前期比微増を、LED照明販売については、開発商品の第4四半期から売上寄与を見込んでおります。

なお、当社グループは、赤字体質からの脱却のため、下半期において、営業費用の削減に向けた対策を従来以上のスピードで実施していく方針ですが、削減効果の実現は多くは来期になるものと考えております。

- (注) 1. 上記の業績予想値は、平成22年10月22日の「平成23年3月期通期(連結)業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したものであります。
2. 上記予想は発表日現在入手できる情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
3. 個別業績予想は開示しておりません。

# 当社グループの取り組み

## 1. 投資サービス事業

オンライントレードの増強やセミナーによる集客など営業力強化を推進すると共に、少人数化を図り収支の改善を目指す。

## 2. 生活・環境事業

<太陽光発電機・オール電化機器等の販売>

10月1日に㈱エコ&エコの福岡支店を新設、引続き、営業基盤の拡大を進める。

<保険募集業務>

既存代理店の統合等により拡大を目指す。来店誘致型店舗も検討。

<LED照明販売>

仕入・販売ルートの確立に注力。補助金等を活用した省エネ機器の導入提案を推進。

## 3. 部署別採算管理の徹底

黒字化の見込めない不採算部署、支店、子会社の廃止または統合を従来以上のスピードで実施していく。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: [keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp](mailto:keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp)